

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書		第1・2学年 地理的分野	地理・002-72
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標、内容 等	<p>○ 地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の地域構成」において、世界各国の人口、面積、国境などから地域構成を大観したり、信仰する宗教との関係などの国旗の由来から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界との時差や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域と東京の雨温図の違いに着目して人々の生活の様子を考察したり、異なる自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の各州の自然環境や歴史、産業から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アジア州では、「経済発展は、地域にどのような影響をあたえているか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、兵庫県神戸市を例に、自然環境や人口、産業、交通等、適切な主題を設けて追究したり、野外観察や聞き取り調査、文献調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえたり、地震や津波発生の仕組み、防災・減災の取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境や人口、産業、交通・通信、生活・文化から7つの地方の地域的特色をとらえたり、「近畿地方の都市と農村は、どのように変化してきたか」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、広島県広島市を例に、地域の特色や課題を調べ、課題の解決策を構想、議論、提案したり、身近な地域の将来像について話し合ったりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習の導入部に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を設けたり、小集団での参加型学習である「みんなでチャレンジ」を配置し、グループで対話したりするなどの学習活動が取り上げられている。</p>				
内容の 構成・ 排列、 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、各単元の導入部において、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返るページを設けるとともに、写真や雨温図などの資料の読み取りや、地域の調査や分析の手法を活用する場面を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「世界と日本の地域構成」は26ページ、「世界の様々な地域」は110ページ、「日本の様々な地域」は136ページ、「その他」は22ページであり、総ページ数は302ページであり、前回より約3%減となっている。</p>				
使用上の 配慮等	<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然の特色を生かした産業や、今に受け継がれるアイヌ民族の文化を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 単元を貫く「探究課題」を設定する活動や、1時間の学習課題を解決する「チェック</p>				

	<p>&トライ」，単元を振り返る活動「探究のステップ」を掲載するなど，主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方と学び方について説明するページを設けたり，全ての生徒が学習しやすいよう，教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載するなど，使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については，旭山動物園や旭川市の雨温図，二重とびらの玄関などの住宅の工夫，ロードヒーティングが備えられた旭川駅前の写真が掲載されるとともに，北方領土については，4つの島々の面積や，自然環境について扱われている。また，アイヌ民族について，旭川に設置されている，アイヌ語が由来になったとされる川の名前を解説する看板が扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については，二次元コードを掲載し，広島市の中心部の様子の動画や時差の調べ方の練習問題などを活用できるよう工夫がなされている。また，「持続可能な地域の在り方」において，調査したことを発表する方法として，プレゼンテーションソフトの活用の仕方について紹介する工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については，単元の導入部において，小学校社会で学習した内容を写真で振り返るページや小学校で習った言葉が掲載されており，学習の振り返りができるよう工夫がなされている。</p>
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<p>○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう，「チェック」「トライ」のアイコンを設け，1単位時間の学習内容のまとめにつながる問いかけや章の最後で問いに対するまとめの活動が位置付けられているとともに，巻頭に地理を学ぶ「5つのミカタ」として，地理の学習に重要な視点の例が示され，全編を通じて地理的な見方・考え方を意識して学習することができるよう工夫がなされている。また，「フィッシュボーン」や「ウェビングマップ」など，多様な思考ツールを活用して内容を考察できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 課題の解決に向けて，複数の資料から適切な資料を選択したり，資料を関連付けて情報を読み取ったりすることができるよう，「スキル・アップ」のコーナーを設置付け，基本的な技術を身に付けることができるよう工夫がなされている。また，「資料を活用する力をきたえよう」のコーナーを設定し，写真や地図，グラフなどの資料を読み取る力や考える力，説明する力を身に付けることができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し，概念などに関する知識として獲得することができるよう，単元のまとめの「ワードチェック」のコーナーやデジタルコンテンツの「社会科用語マスター」などで，単元の学習に出てきた用語やその意味を確認することができるよう工夫がなされている。また，地理的な見方・考え方を働かせることができるよう，数多くのページに視点の例を示すマークが記載されたり，地理，歴史，公民の三分野の関連を示すリンクマークを設けたりするなどの配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		17・教出		第1・2学年 地理的分野	地理・017-72
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標、内容 等	<p>○ 地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口などから地域構成を大観したり、国旗や国名に織り込まれている文化や歴史から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界各地の位置関係や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の衣服・食事・住まいや言語・宗教に着目して人々の生活の様子を考察したり、世界各地の自然・社会条件と労働とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の各州の自然環境や他地域との結びつきから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、ヨーロッパ州では、「なぜ、国々の結びつきが強まったのか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、愛知県名古屋市を例に、歴史・文化、交通、商業等、適切な主題を設けて追究したり、観察や聞き取り調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえたり、地形、自然災害と防災、開発と環境保全の取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信などから7つの地方の地域的特色をとらえたり、「九州地方における自然環境とその保全」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、熊本県水俣市を例に、地域の特色や課題の背景、現状を調べ、調査結果を発表、共有したり、望ましい地域の在り方について話し合ったりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、授業の導入の場面で、生徒の興味・関心が高まるような写真・図版を提示したり、本時の学習内容を確認し、自分の言葉で表現する「確認」「表現」のコーナーを配置して、他者と交流するなどの学習活動が取り上げられている。</p>				
内容の 構成・ 排列、 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、巻頭の「地理にアプローチ」において、小学校で学習した地図のきまりや地図帳の使い方などを振り返る活動の位置付けるとともに、「地域の在り方」では、発表会に地域の方々を招いて意見を提案しようとするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「世界と日本の地域構成」は19ページ、「世界の様々な地域」は103ページ、「日本の様々な地域」は157ページ、「その他」は31ページであり、総ページ数は310ページとなっており、前回より約1%増となっている。</p>				
使用上の 配慮等	<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然環境を生かした産業や、持続可能な社会づくりの視点からアイヌ民族の文化を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 1時間の授業の見通しを分かりやすく示した「学習課題」や、章・節の学習を振り返</p>				

	<p>るページ「学習のまとめと表現」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、北海道地方の導入ページにおいて、旭山動物園とそば畑の写真、長い冬の暮らしにおいて、旭川市の二重とびらの玄関の住宅の写真と旭川市の雨温図が掲載されるとともに、北方領土について、択捉島の写真が掲載されるほか、「日本の領土をめぐって」において日本とロシアとの関係性の経緯や日本の立場について扱われている。また、アイヌ民族について、アイヌ語に由来する主な地名が扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については、二次元コードを掲載し、生徒自身が学習に活用できる動画やクイズ、外部リンクサイトなど多様なデジタル・コンテンツへのアクセスができるよう工夫がなされている。また、ホームページを活用して調査したことを発信したり、プレゼンテーションソフトを使った発表の仕方を紹介したりするなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、学習の冒頭において、小学校社会科との接続・関連を図るページを設けるとともに、「地理にアプローチ」では、小学校で習った地図のきまりや地図帳の使い方を確認することができるよう配慮がなされている。</p>
<p>本市生徒 の 学習の状 況等</p>	<p>○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう、章の始めに世界や日本、自分の住んでいる地域を自分事として捉え、比較して考える工夫がなされている。単元の終わりにまとめのページが設定されるとともに、「学習したことを活用してまとめよう」において、フィッシュボーンなどの思考ツールを使ってまとめたり、グループでの対話を通して社会的課題を考察したりする活動を設定する工夫がなされている。</p> <p>○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力を育むことができるよう、「地理の技」のコーナーが設定され、地図やグラフなどの資料の読み取り方や考察の仕方を示す工夫がなされている。また、単元のまとめの「学習したことを確認しよう、振り返ろう」で、複数の資料から確認や振り返りができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得することができるよう、「確認」や「表現」のアイコンを毎時間設置し、学習したことの確認や整理をしたり、学習したことを活用して、自分の言葉で表現したりすることができるよう工夫がなされている。また、深い学びが促されるよう、各章のとびらに、地理的な見方・考え方を提示したり、歴史や公民に関連する項目を確認したりできるよう配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			46・帝国	第1・2学年 地理的分野	地理・046-72
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標、内容 等	<p>○ 地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口、国境などから地域構成を大観したり、世界の国々や都市の位置から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界各地との時差や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の衣食住に着目して人々の生活の様子を考察したり、自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の各州の自然環境や歴史・文化、産業から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、南アメリカ州では、「農地や鉱山の開発による地域への影響」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、東京都練馬区を例に、自然環境や人口、都市・村落、産業等、適切な主題を設けて追究したり、野外観察や聞き取り調査、文献調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、産業、交通、通信な特徴をとらえたり、防災・減災のために行われている取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境、生活・文化、産業などから7つの地方の地域的特色をとらえたり、「中部地方の産業は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたか」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、兵庫県神戸市を例に、収集した資料や情報を基に地域の魅力と課題を分析し、要因を考察したり、構想した解決策について話し合ったりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元のはじめに、大判な写真から地域を概観する「写真で眺める」を設定したり、単元のまとめに「学習を振り返ろう」を配置し、思考ツールを活用して他者と対話したりするなどの学習活動が取り上げられている。</p>				
内容の 構成・ 排列、 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、脚注欄に、小学校で学習した内容を確認できるように関連用語を提示するとともに、社会に対し生徒自身がどのように参画していくかを考える「未来に向けて」を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「世界と日本の地域構成」は24ページ、「世界の様々な地域」は102ページ、「日本の様々な地域」は166ページ、「その他」は18ページであり、総ページ数は310ページとなっており、前回とほぼ同様となっている。</p>				
使用上の 配慮等	<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然を生かした観光産業や、自然と共に生きるアイヌ民族の生活や文化を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 章・節・各本文において、学習する内容を示した「章・節の問い」「毎時の学習課題」や、末尾に「学習を振り返ろう」「確認しよう」「説明しよう」を掲載するなど、主体</p>				

	<p>的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書を活用した学び方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の配慮等	<p>○ 地域素材については、冬の旭山動物園で見られるペンギンの雪上散歩、雪や寒さへの工夫がなされた住宅の写真が掲載されるとともに、北方領土について、歴史的背景を基にした千島列島の周辺の国境に関することが扱われている。また、アイヌ民族について、旭川市に設置されているアイヌ語地名と現在の地名を併記した表示板やアイヌ語に起源をもつ地名を表した地図などを扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については、二次元コードを掲載し、写真で眺めるコンテンツや学習を振り返るワークシートなど、学習を深めることができるよう工夫がなされている。また、「地域調査のしかた」において、デジタル地図の使い方を説明したり、「地域のあり方」でプレゼンテーションソフトを使った発表の仕方を紹介したりするなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、本文ページの脚注欄において、「小学校・歴史・公民・他教科との関連」が表記され、小学校で学習した内容を確認できるよう工夫がなされている。</p>
本市生徒の学習の状況等	<p>○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう、単元末で「学習を振り返ろう」として、地理的な見方・考え方を意識させ、章の問いをまとめる活動が位置付けるとともに、「技能をみがく」のコーナーで新旧の地形図を比較させたり、考えを整理する方法として思考ツールについて紹介したりするなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力を育むことができるよう、統計資料の活用方法の掲載や「地図帳を活用した学び方」を設定し、位置や分布を地図上でとらえ、教科書本文と資料を関連付ける学び方ができるよう工夫がなされている。また、単元の振り返りで課題をまとめるために活用する資料が示され、適切に選択できるよう配慮がなされている。</p> <p>○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得することができるよう、単元全体を振り返ることができる項目の設定や「地理プラス」のコラムや特設ページの活用により、学びが深まるよう工夫がなされている。また、歴史・公民で学習する事項を表記する配慮がなされている。</p>
その他	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		116・日文	第1・2学年 地理的分野	地理・116-72	中学社会 地理的分野
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標、内容 等	<p>○ 地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口、国境などから地域構成を大観したり、国名や国旗の意味から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界各地との時差や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の生活とその場所の地形や気候、社会の様子に着目して人々の生活の様子を考察したり、自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の各州の自然環境や産業から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アフリカ州では、「資源などにたよる経済をどのように克服しようとしているか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、京都府京都市を例に、自然環境、人口や都市・村落、産業、交通・通信等、適切な主題を設けて追究したり、野外観察や聞き取り調査、文献調査、統計調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえたり、防災・減災のための取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境、交通・通信、歴史的背景などから7つの地方の地域的特色をとらえたり、「関東地方の人口分布にはどのような特色があり、何が課題になっているか」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、宮崎県宮崎市を例に、地域の魅力を高めるために、課題の解決策を考察し、情報を集めて構想したり、よりよい地域の将来像について話し合ったりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習したことを生かして、生徒が自分で考えたり、対話したりするための具体的な問いや活動を提示する「議論してみよう」を設けたり、「学び合い」マークを配置し、グループで話し合ったりするなどの学習活動が取り上げられている。</p>				
内容の 構成・ 排列、 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「学習のはじめに」や本文、脚注の「連携コーナー」に、小学校社会科の学習内容を提示するとともに、地理的分野の学習に必要な地理的技能を習得する「スキルUP」を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「世界と日本の地域構成」は24ページ、「世界の様々な地域」は104ページ、「日本の様々な地域」は163ページ、「その他」は27ページであり、総ページ数は318ページとなっており、前回より約7%増となっている。</p>				
使用上の 配慮等	<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然環境を生かした観光や、アイヌの人々の生活や文化、アイヌ語に由来する主な地名を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 導入ページに、単元を貫く問いを設定する「学習のはじめに」「節の問いを立てよう」や、各単元末に「まとめとふり返し」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p>				

	<p>○ 教科書の構成と学び方について説明するページを設けたり，全ての生徒が学習しやすいよう，教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントの使用したりするとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載するなど，使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の配慮等	<p>○ 地域素材については，旭山動物園のペンギンの散歩の写真，旭川市の雨温図，旭川市の年間降雪日数，旭川市の住宅の玄関や屋根などの住宅の様子や除雪車などが掲載されるとともに，北方領土について，国境の変化の様子が扱われている。また，アイヌ民族について，自然環境との共生に関わることが扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については，二次元コードを掲載し，学習を見通すことができる動画や，選択した任意の2都市の雨温図を重ね合わせることができるツールなど，学習場面で活用できるよう工夫がなされている。また，「地域調査の手法」において，デジタル地図の使い方を説明したり，プレゼンテーションソフトを使った発表の仕方を紹介したりするなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については，単元の導入部や本文ページの脚注欄において，小学校で学習した学年と学習内容が掲載されており，学習の振り返りができるよう工夫がなされている。</p>
本市生徒の学習の状況等	<p>○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう，単元のまとめと振り返りのページで，問いに対するまとめの活動が位置付けられており，フィッシュボーンやクラゲチャートなどの思考ツールを使ってまとめるなど，単元の問いを深めるための工夫がなされている。</p> <p>○ 複数の資料から適切な資料を選択したり，資料を関連付けて情報を読み取る力を育むことができるよう，「スキルUP」のコーナーを設定し，統計資料や地図，写真の活用方法などの必要な技能を系統立てて習得できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し，概念などに関する知識として獲得することができるよう，1時間ごとに「確認」や「表現」のアイコンを設定し，学習を確かめるための問いを示すよう工夫がなされている。また，巻頭ページや毎時間の見開きに見方・考え方の視点や例を示し，学習全体を見通して見方・考え方を働かせることを促したり，小学校や歴史・公民の学習との関連を表記したりするなどの配慮がなされている。</p>
その他	